

はぐくみの軸強化方針 検討会 (論点資料)

2022年11月15日 第6回
札幌市

目次

策定及び検討会の進め方	・・・ P1
第5回検討会での指摘事項と対応方針	・・・ P2

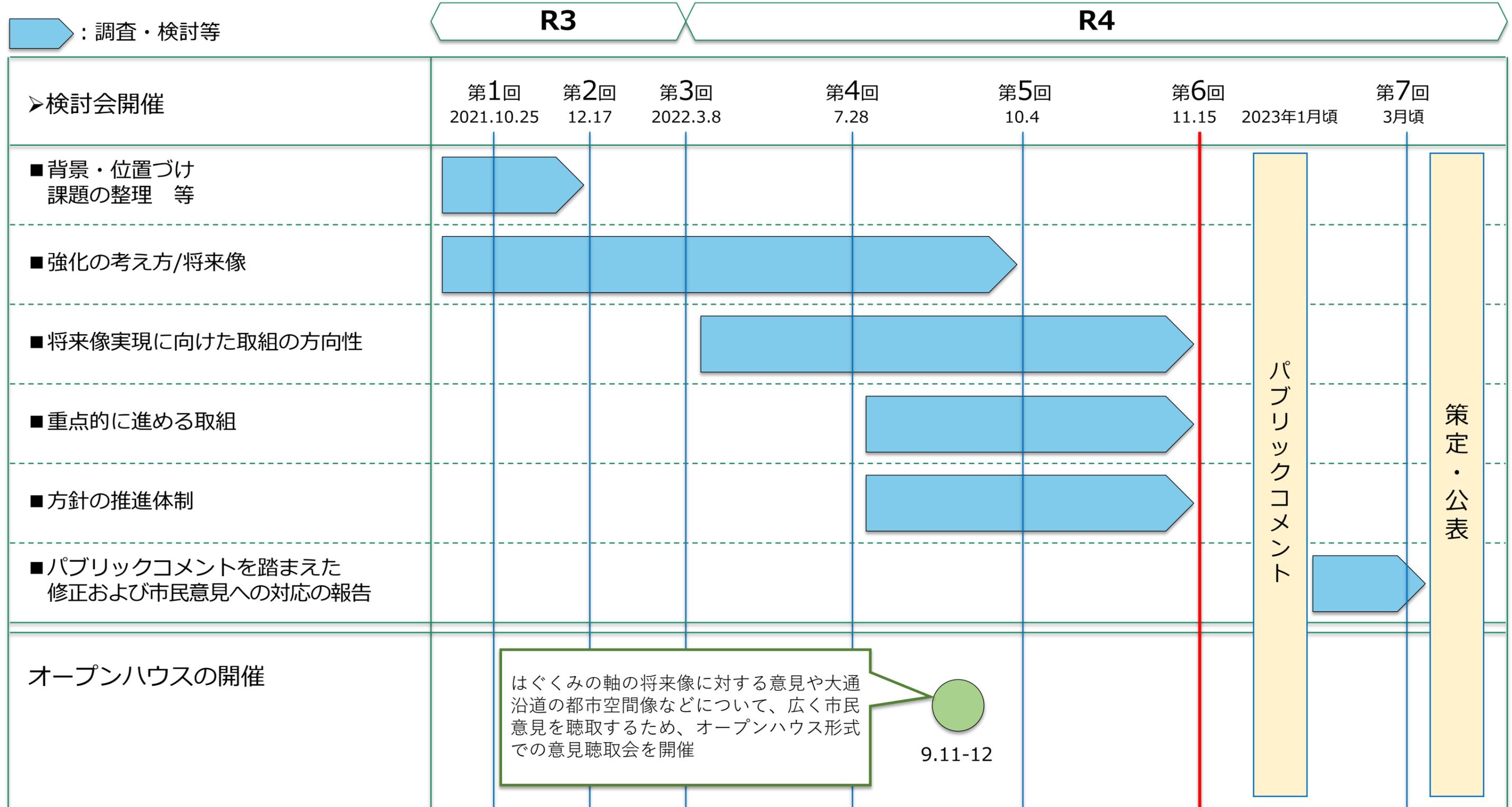
本日の論点

- ①第5回検討会の意見を踏まえた修正内容について
 - ・指摘を精査した内容が資料に反映されているか？ など
- ②「はぐくみの軸強化方針」素案全体の内容について
 - ・これまでの検討会を踏まえて内容が整理され、市民や事業者等に伝わりやすい素案となっているか？ など

策定及び検討会の進め方

- 令和3年度は、合計3回の検討会を開催し、はぐくみの軸を取り巻く歴史的背景・現状・課題などを整理・分析のうえ、はぐくみの軸全体の将来像を中心に議論を進めてきました。
- 令和4年度は、将来像実現に向けた取組の方向性を議論し、方針の素案を取りまとめ、パブリックコメントを経て札幌市において方針を策定します。

概略スケジュール



9.11-12

本日

第5回検討会での指摘事項と対応方針

テーマ	no.	意見の要約	対応方針
方針全体	1	大通、大通公園、沿道、大通沿道、などの用語の使い分けを整理すること	・使い分けを整理 ※最終版には用語の定義を記載することを検討
	2	「都心のみどりづくり方針」と並行して検討されているため、最終的には両方針の内容が統合された形で見られるようになることと良い。	・まとめ資料の作成を今後検討
	3	文字が多いため、イメージが湧くような事例写真などを増やしてはどうか。	・必要な個所に事例写真やイメージイラストを掲載
目次	4	“本書の使い方”として、知りたい事によりどのページを見たら良いかを冒頭で示してはどうか	・方針本書 P1) 目次と合わせて索引を掲載
重視すべき視点と目指すべき将来像	5	抽出した視点の「まちの発展に関連する分野」には「今まではぐくまれているものや価値を継承する」という視点も大事。「発展」と「価値の継承」の両立を表現してほしい。	・方針本書 P27) 視点をまとめた分野の文言を見直し
	6	12の将来像が並列の要素のように見えて、大きな目標が分かりにくくなっている。はぐくみの軸の全体像やイメージの共有が必要。「大通公園がもつ札幌都心の象徴性を継承する」など、キャッチーなイメージが必要。それを担保するためにそれぞれの取り組みがあるという構成もあろう。	・方針本書 P28他) まちづくりの理念の文言を見直し
	7	類似する取組みのものは将来像をまとめるなど、もう少しシンプルに出来るかもしれない。	・方針本書 P28) 各将来像が類似の表現にならないように見直し
将来像実現のための取組の方向	8	将来像⑩【みどり】の書き方について、沿道建物との一体性や繋がりなどの表現が出来ていない。	・方針本書 P41他) 関連計画に記載
	9	将来像⑦【居心地がよく歩きたくなるまち】において、居心地の良さが説明されていない。滞留する空間や休息する場所などが必要なものも記述すべき。大通公園と沿道との間に居心地のよい空間の連続性を確保するという取り組みも必要。	・方針本書 P32) 断面イラストでみどりの連続などを表現
	10	【みどり】について、大通公園と沿道のみどりが連続性に欠けることや、一体的なつながりを創出するという方向性を表現できていない。大通公園の沿道と連携する緑化の工夫、沿道に公園と連続する緑化を設ける、などを加える必要。	・方針本書 P49) 断面イラストでみどりの連続などを表現
ゾーン別の現状と課題、強化の考え方	11	西Cゾーンには、大通公園から周辺の既存施設、特に文化施設等への沿道も含め、連続した緑化や景観への配慮があることが望ましい。	・方針本書 P49) 断面イラストで周辺施設との関係性を表現
	12	東ゾーンに住居主体の街並みを意識して方針を書き込んでいけると良いのでは。	・方針本書 P49) 断面イラストで住宅を表現することで強化の考え方を補足
	13	断面イラストの植栽や断面の表現について、見ただけでメッセージが伝わるような工夫が必要。沿道の象徴的な空間とみどりとの繋がりや、未来を走る車の種類をどう扱うかなども表現してほしい。部分的なイメージスケッチもあると良いのでは。	・方針本書 P41他) 断面イラストに着色や部分スケッチを追加
	14	ゾーン毎の断面図に掲載する文字を減らした方が良い。「全ゾーン共通」と書いているものは、全ての絵に描く必要もないかもしれない。	・方針本書 P41他) 断面イラストページに記載する主な取組例を見直し
	15	将来像に主な取組例を示している点は分かりやすくなった。取組相互の関連によって実現する将来イメージを書いたほうが分かりやすいのでは。	・方針本書 P41他) あらゆる取組を断面イラストに記載する事でそれぞれの取組が相互に関係して将来像を作っていくことを表現
将来像と取組の方向	16	主な取組例の一覧はゾーンごとの特色が分かりづらい。() 書きの具体例が増えると良い。	・方針本書 P55他) 可能な限り具体例を追記
	17	将来像⑤【ユニバーサル】の取組が少ないのがさみしい。将来像⑦【居心地がよく歩きたくなるまち】も居心地の良さにつながる取組が記載されていない。	・方針本書 P58) 「想定される主な取組」等を見直し
	18	創成東と創成西が関連することも結構あるのでは。景観についてなど、創成東に抜けている記載はそのままでもいいのか改めて確認すること。	・方針本書 P55他) 各ゾーンにおける取組例を見直し
	19	東ゾーンは遊びに利用できるスペースが少ないので、連続したみどりの波及や、市民が余暇を過ごし、子どもが遊べるスペースを確保することを取り組みとしてあげることにはできないか。	・方針本書 P57) 「魅力あるライフスタイル」の将来像に当該項目を追記
	20	東ゾーンは【居心地がよく歩きたくなるまち】の取り組みも必要。	・方針本書 P57) 将来像⑦【居心地がよくあるまち】の取組内容を見直し
	21	市民も大事にしている「象徴性」を大事にするため、屋外広告物について、景観保全型広告整備地区を計画するなど、象徴性を継承するための記載があってもよい。	・具体的な計画等は今後検討
	22	例えば外出中に体調不良を起こしても救急体制が整っているといったように、誰もが安心して来訪できる「生理的な安心感」は表現できないか。	・方針本書 P58) 将来像⑤【ユニバーサルなまち】に当該内容を追記
	23	複数の将来像に同じ取組が入ることもあるが、書き方を整理してほしい。	・方針本書 P55他) 各ゾーンにおける取組例の表現を見直し
重点的に進める取組	24	「重点的に進める取組」は、オープンハウスの結果と連動したという表現をしてはどうか。	・方針本書 P62) オープンハウスの結果と「重点的に進める取組」の関係を整理
取組の推進にあたって	25	方針をどのように活用していくかを導く方向性が示し、方針策定の後どのようなステップで具体的な取組に繋げるのかを整理すべき	・方針本書 P66) 「取組の推進にあたって」の内容を見直し
	26	今後個別の事業などを待っているだけではなく、札幌市として仕掛ける“価値を高める仕組み”があるといい	・方針本書 P66) 行政の役割として記載
	27	「取組の推進」の部分では、今後どんな関係部署がどういう対応していくのかが示された方が良い。	・方針本書 P5) 「位置づけ」の中で関連計画との連携・整合を図ることを記載していることをもって関係部署との関係性を表現
	28	いろいろな取り組みを誰が行うかを明記するとわかりやすくなるのでは。	・方針本書 P66) 市民・企業等・行政の役割を記載
	29	本書の活用についてはもちろん地元の理解が大事だが、行政のリーダーシップが求められるところもある。	・方針本書 P66) 「取組の推進にあたって」の内容を見直し
	30	「本書の活用イメージ」の図がわかりづらい。各ゾーンで、市民・企業・行政等が取組を進め、それが連携していくことで将来像の実現につながる、といったようなフローが示せると良い。	・方針本書 P66) 「取組の推進にあたって」の内容を見直し
	31	個々の開発などがまちづくりの方針に沿う努力をしても、別の開発と方向性がずれると調和がとれない。隣接する敷地間における連携といったことを書けないか。	・方針本書 P64) 「地域の取組の連鎖」にて当該内容を表現
	32	「計画の進行管理」について、今回の方針がPDCAの枠組みが該当するかを再検討すべき。行政・事業者・市民それぞれがチャレンジをしていくことを示せると良い。	・方針本書 P66) 「取組の推進にあたって」の内容を見直し
	33	PDCAの中に、当該方針の見直しだけでなく、上位計画（第2次都心まちづくり計画）へのフィードバックということも入れてほしい。	・方針本書 P66) 行政の役割として記載